

完了後の評価個表

整理番号	18-1
------	------

事業名	森林居住環境整備事業	都道府県	長崎県
ふりがな 地域(地区)名	<small>にしそのぎほんとう</small> 西彼杵半島	事業実施主体	長崎県
関係市町村	長崎市(旧外海町) 西海市(旧大瀬戸町、旧西海町)	管理主体	長崎市(旧外海町) 西海市(旧大瀬戸町、旧西海町)
事業実施期間	H14～H19(6年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>①位置等 本路線の工事実施区域は長崎県長崎市を起点とし、同県西海市を終点としている。総延長は40.8kmである。</p> <p>②森林の現況 利用区域のうち森林面積は4,267haであり、人工林率は58%である。人工林の植栽樹種のほとんどがスギ、ヒノキとなっており、それらの齢級構成は間伐等の森林整備を必要とする9齢級以下が約8割を占めている。</p> <p>③当地区を整備する目的・意義 当地域は豊富な森林資源に恵まれた地域で、公道は比較的整備されているものの、大部分が突っ込み線形又は海岸からの稜線への横断路線となっており、これらの道路を広域的かつ有機的に連絡する骨格道路がなかった。</p> <p>(事業概要) 森林基幹道整備 <small>にしそのぎほんとうせん</small> 西彼杵半島線 車道幅員 5.0～7.0m 開設延長 8,197m 利用区域 858ha (当初計画延長 5,051m)</p> <p>総事業費 3,024,000千円 (当初総事業費 2,325,000千円)</p>
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成25年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 幅員・線形の見直し、短期間による集中投資等によるコスト縮減対策を図ったが、計画延長を増長したため採択時に比べ総事業費が増加した。また、森林整備に要する費用を計上したことにより総費用が増加した。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>5,088,483千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>4,389,919千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>4,846,361千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>1,582,619千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>1.05</td> <td>(事業採択時</td> <td>2.77)</td> </tr> </table>	総便益(B)	5,088,483千円	(事業採択時	4,389,919千円)	総費用(C)	4,846,361千円	(事業採択時	1,582,619千円)	分析結果(B/C)	1.05	(事業採択時	2.77)
総便益(B)	5,088,483千円	(事業採択時	4,389,919千円)										
総費用(C)	4,846,361千円	(事業採択時	1,582,619千円)										
分析結果(B/C)	1.05	(事業採択時	2.77)										

② 事業効果の発現状況	<p>本路線は搬出間伐など森林整備による木材運搬のための大型車両等の通行など、林業をはじめとした地域の農林業等基幹産業の振興に大きく寄与している。また、本路線周辺の森林公園等のレクリエーション施設等への利用性の向上や地元の通勤・通学・一般通行等生活基盤に欠かせない道路として多く利用されている。</p>
-------------	---

③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>当事業により開設された林道は地元関係市(長崎市・西海市)へ年度完成後移管しているが、移管先である地元市がそれぞれ定めた林道管理要項に基づき管理されており、伐開、除草、路面補修、排水路の修繕など良好な維持管理状況である。</p>
---------------------	--

④ 事業実施による環境の変化	<p>本路線の活用により、森林施業地までの到達時間の短縮や木材の搬出運搬コストの低減等が図られ、森林所有者の森林施業の実施に対する意欲が向上している。 また、点在する集落間や都市間の交流が増加し利便性が向上したうえ、山村地域の生活環境の改善に繋がった。</p>
----------------	--

⑤ 社会経済情勢の変化	<p>事業着手当時に比べて、木材価格は大きく下落を続け、林業従事者の高齢化も歯止めがかからず、林業・木材産業は低迷している状況にあり、森林・林業を取り巻く情勢はさらに厳しさを増した。</p>
-------------	---

⑥ 今後の課題等	<p>近年の局所的な豪雨に起因する地すべり挙動が観測されており、地すべり災害が懸念されるところである。県は市への技術支援体制を含め対応する方針である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の意見：本路線は地元で盛んに活用されており、移管先における維持管理状況も良好である。(長崎県) ・地すべり多発地帯を通過しているため、今後も維持管理する上で県の指導を仰ぎたい。今後は、林業専用道、作業道等の低コスト路網を積極的に整備したい。(長崎市、西海市)
----------	---

評価結果	<ul style="list-style-type: none">・必要性 : 地域の林道網の骨格となる基幹林道として整備されており、林業をはじめとした地域の基幹産業の振興、山村地域の生活環境改善等に貢献していることから、必要性は高い。・効率性 : 本路線の施工に当たっては、現地の条件に応じた工種・工法が採用されるとともに、2車線から1車線への見直しによる切・盛土量の抑制や構造物の廃止などコスト縮減や事業期間短縮など事業の効率性が認められる。・有効性 : 本路線の開設により、森林の集約化を推進し効率的な路網の配置が可能となるとともに、森林整備の作業や木材生産の効率が向上してコストの削減が図られ、さらに森林公園等フォレストアメニティ施設へのアクセスが容易となり、今後も一層の効果の発現が見込まれることから、事業の有効性が認められる。
------	--

便 益 集 計 表

事業名：森林居住環境整備事業

都道府県名：長崎県

地域(地区)名：にし そのさぎ ほんとう西彼杵半島

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	62,475	
	木材利用増進便益	523,642	
	木材生産確保・増進便益	1,278,145	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	6,429	
	森林整備促進便益	1,622,501	
一般交通便益	走行時間短縮便益	562,164	
	走行経費縮減便益	100,223	
森林の総合利用便益	アクセス時間短縮等便益	8,813	
	フォレストアメニティ施設利用便益	761,889	
災害等軽減便益	防火帯便益	162,202	
総 便 益 (B)		5,088,483	
総 費 用 (C)		4,846,361	
費用便益比	$B \div C = \frac{5,088,483}{4,846,361} = 1.05$		

森林基幹道西彼杵半島線位置図

